

# 2008年3月期決算説明会

---

平成20年5月16日



日本アビオニクス株式会社



# 主要製品

## 情報システム製品

表示音響装置、  
指揮・誘導装置、  
電波応用装置、HIC



## 電子装置製品

プロジェクター、赤外線  
機器、RFID、情報端末



## 製造装置製品

接合機器、外観検査装置、  
超高多層プリント配線板



- 【増収減益】 売上高 ... 前期比+7.2億円(+2.0%)  
営業利益 .. 前期比△3.1億円(△17.1%)
- 【特別損失計上】 たな卸資産廃棄損(7.7億円)計上
- 【営業CF増加】 営業CF 39.7億円(前期比+16.5億円)
- 【有利子負債減】 前期比△16.8億円  
優先株式1300千株償還実施
- 【赤外線事業再編】 当社グループ内の経営資源統合決定  
(NEC Avio赤外線テクノロジー(株)  
2008年4月1日発足)

# 2008年3月期決算

(金額単位:億円)

	2007年3月期	2008年3月期		
			増減額	増減率
売上高	356.4	363.6	7.2	2.0%
営業利益 (営業利益率)	18.1 5.1%	15.0 4.1%	△ 3.1 △ 1.0%	△ 17.1%
経常利益 (経常利益率)	15.4 4.3%	12.6 3.5%	△ 2.8 △ 0.9%	△ 18.2%
当期純利益 (当期純利益率)	11.8 3.3%	3.5 1.0%	△ 8.3 △ 2.4%	△ 70.4%
1株当たり配当金	6.0	6.0	—	—

# 高 上 売

(金額単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期		
			増減額	増減率
情報システム	154.4	174.2	19.8	12.8%
電子装置	117.4	107.8	△ 9.5	△ 8.1%
赤外線・計測機器	76.0	75.7	△ 0.4	△ 0.5%
プロジェクタ他	41.3	32.1	△ 9.2	△ 22.2%
製造装置	84.6	81.6	△ 3.1	△ 3.6%
接合・検査装置	42.9	40.8	△ 2.1	△ 4.9%
高多層基板	41.8	40.8	△ 1.0	△ 2.3%
計	356.4	363.6	7.2	2.0%

# 営業利益

(金額単位:億円)

	2007年3月期	2008年3月期		
			増減額	増減率
情報システム 営業利益率	13.7 8.9%	16.5 9.5%	2.8 0.6%	20.7%
電子装置 営業利益率	6.7 5.7%	0.9 0.9%	△ 5.7 △ 4.8%	△ 86.2%
製造装置 営業利益率	11.6 13.7%	9.3 11.3%	△ 2.3 △ 2.3%	△ 19.9%
その他・消去	△ 13.8	△ 11.7	2.1	—
計 営業利益率	18.1 5.1%	15.0 4.1%	△ 3.1 △ 1.0%	△ 17.1%

# 営業外損益・特別損益

(金額単位:億円)

営業外損益	2007年3月期	2008年3月期	
			増減額
営業外収益	0.8	1.0	0.2
受取利息および配当金	0.0	0.0	0.0
為替差益	0.2	0.3	0.0
受取手数料	0.3	0.2	△ 0.0
その他	0.3	0.4	0.1
営業外費用	3.5	3.4	△ 0.1
支払利息	2.8	2.3	△ 0.5
支払手数料	—	0.5	0.5
その他	0.7	0.6	△ 0.1

特別損益	2007年3月期	2008年3月期	
			増減額
特別利益	—	—	—
特別損失	2.7	8.1	5.3
たな卸資産廃棄損	—	7.7	7.7
固定資産除却損	2.4	0.4	△ 2.0
製品保証引当金繰入額	0.4	—	0.4



# 連結貸借対照表

(金額単位:億円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額		2007年3月期	2008年3月期	増減額
<b>流動資産</b>	<b>245.6</b>	<b>219.6</b>	<b>△ 26.0</b>	<b>流動負債</b>	<b>171.5</b>	<b>176.2</b>	<b>4.7</b>
現金および預金	15.3	17.8	2.6	支払手形および買掛金	60.8	62.4	1.6
受取手形および売掛金	107.1	94.8	△ 12.3	短期借入金	72.7	77.5	4.8
たな卸資産	109.2	97.3	△ 11.8	未払法人税等	2.9	1.1	△ 1.8
繰延税金資産	9.7	5.3	△ 4.4	その他	35.1	35.2	0.1
その他	4.4	4.4	0.0	<b>固定負債</b>	<b>83.0</b>	<b>64.5</b>	<b>△ 18.5</b>
<b>固定資産</b>	<b>110.5</b>	<b>111.1</b>	<b>0.6</b>	長期借入金	43.8	22.2	△ 21.6
有形固定資産	88.1	83.8	△ 4.4	退職給付引当金	25.4	29.1	3.8
建物および構築物	23.1	22.0	△ 1.1	その他	13.9	13.2	△ 0.7
土地	48.5	48.5	—	負債合計	<b>254.6</b>	<b>240.7</b>	<b>△ 13.8</b>
その他	16.5	13.3	△ 3.2	<b>株主資本</b>	<b>83.4</b>	<b>71.9</b>	<b>△ 11.5</b>
無形固定資産	4.8	4.2	△ 0.6	資本金	51.5	51.5	—
投資その他の資産	17.5	23.1	5.6	利益剰余金	32.1	20.6	△ 11.5
前払年金費用	13.5	15.2	1.7	自己株式	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.0
繰延税金資産	1.7	5.9	4.1	評価・換算差額等	18.1	18.1	△ 0.0
その他	2.3	2.0	△ 0.2	純資産合計	<b>101.5</b>	<b>90.0</b>	<b>△ 11.5</b>
<b>資産合計</b>	<b>356.1</b>	<b>330.7</b>	<b>△ 25.3</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>356.1</b>	<b>330.7</b>	<b>△ 25.3</b>

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位: 億円)

	2007年3月期	2008年3月期	
			増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	23.2	39.7	16.5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16.7	△ 5.4	11.3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11.4	△ 31.8	△ 20.4
現金および現金同等物の増減額	△ 4.8	2.6	7.4
現金および現金同等物の期首残高	20.1	15.3	△ 4.8
現金および現金同等物の期末残高	15.3	17.8	2.6

フリー・キャッシュ・フロー	6.6	34.4	27.8
有利子負債残高	116.5	99.7	△ 16.8
D/Eレシオ	1.15	1.11	△ 0.04

- 【売上高】 前期比 $\Delta 8.6$ 億円( $\Delta 2.4\%$ )  
情報システムの大幅減を民需製品でカバー
- 【営業利益】 前期比 $\Delta 1.0$ 億円( $\Delta 12.7\%$ )  
情報システムの大幅減を民需製品でカバー  
民需製品の研究開発投資注力
- 【特別損失計上】 たな卸資産評価損(4.9億円)計上  
「棚卸資産の評価に関する会計基準」対応
- 【キャッシュ・フロー】 有利子負債削減(前期比 $\Delta 5.3$ 億円)  
戦略投資(工場整備等)を計画

# 2009年3月期業績見通し

(金額単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期業績見通し			
		上期		増減額	増減率
売上高	363.6	165.0	355.0	△ 8.6	△ 2.4%
営業利益 (営業利益率)	15.0 4.1%	2.1 1.3%	14.0 3.9%	△ 1.0 △ 0.2%	△ 6.7%
経常利益 (経常利益率)	12.6 3.5%	0.5 0.3%	11.0 3.1%	△ 1.6 △ 0.4%	△ 12.7%
当期純利益 (当期純利益率)	3.5 1.0%	△ 5.9 △ 3.6%	1.8 0.5%	△ 1.7 △ 0.5%	△ 48.6%
1株当たり配当金	6.0	—	6.0	—	—

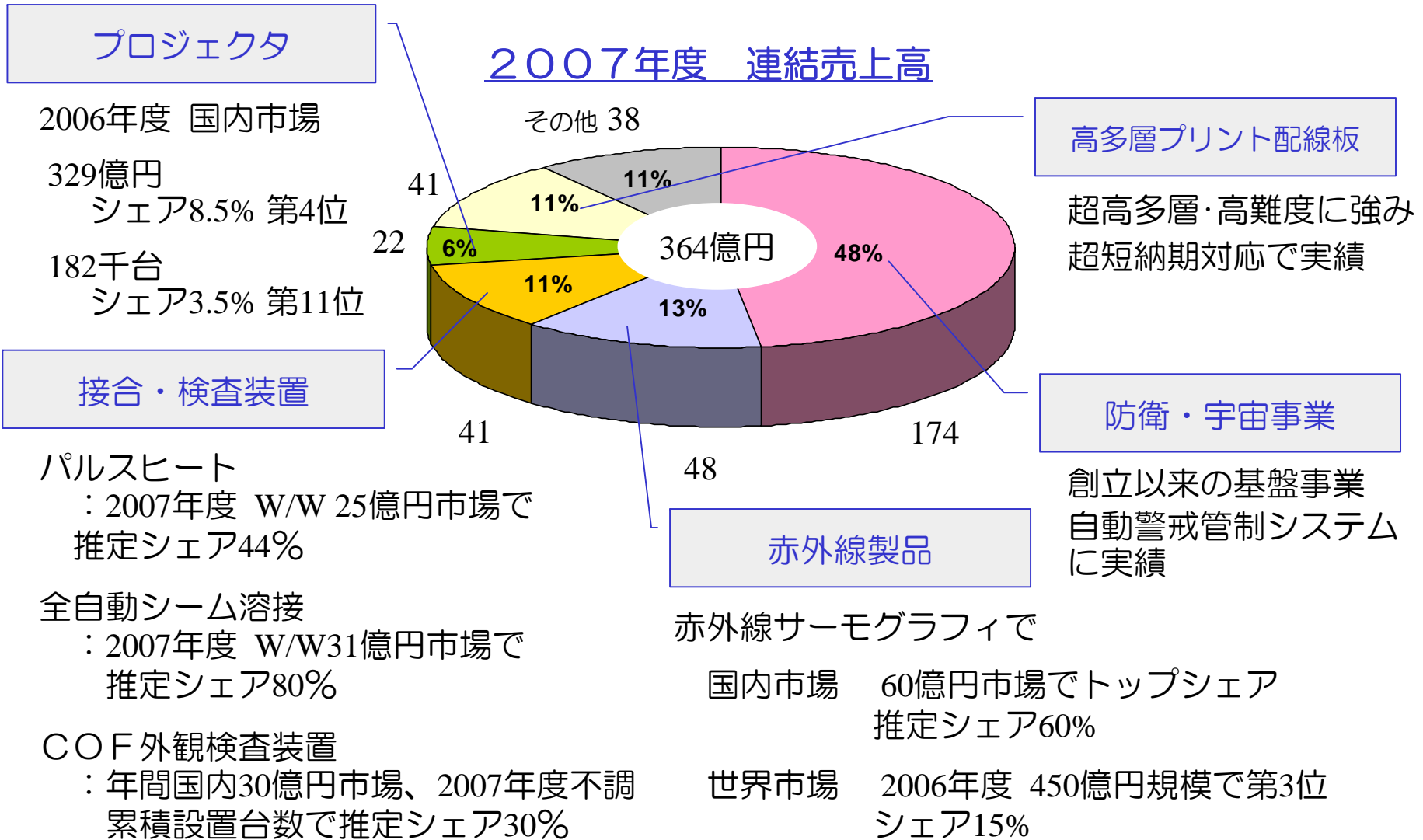
# 売上高見通し

(金額単位: 億円)

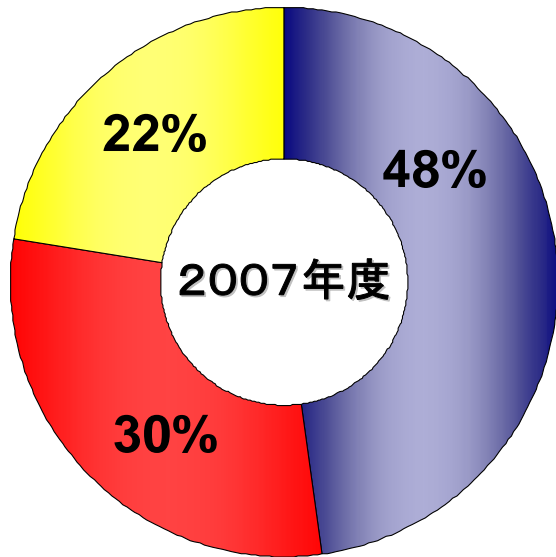
	2008年3月期	2009年3月期業績見通し		
			増減額	増減率
情報システム	174.2	115.2	△ 59.0	△ 33.9%
電子装置	107.8	140.5	32.7	30.3%
赤外線・計測機器	75.7	100.6	24.9	32.9%
プロジェクタ他	32.1	39.9	7.8	24.2%
製造装置	81.6	99.3	17.7	21.7%
接合・検査装置	40.8	56.3	15.5	38.1%
高多層基板	40.8	43.0	2.2	5.4%
計	363.6	355.0	△ 8.6	△ 2.4%

# Avioの市場におけるポジション

2007年度 連結売上高

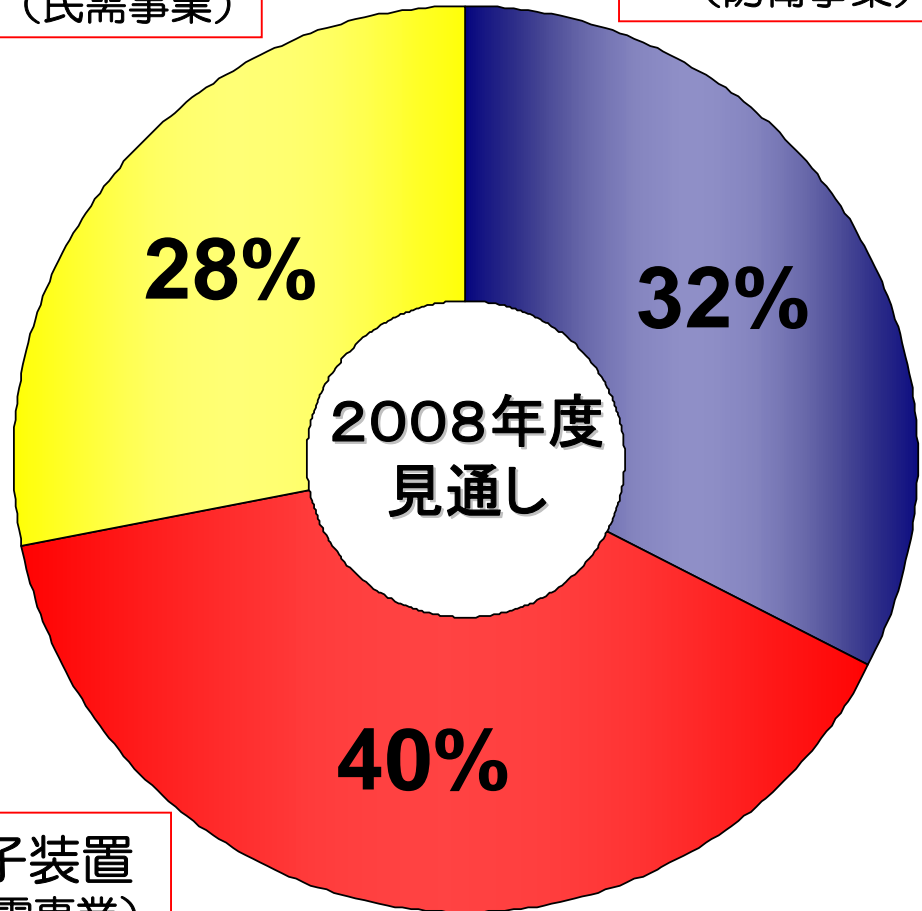


# 製品区分別売上構成



製造装置  
(民需事業)

情報システム  
(防衛事業)



電子装置  
(民需事業)

防衛事業を堅持し、  
民需事業を積極展開

**赤外線・計測および  
接合・検査装置に注力**

# 営業利益見通し

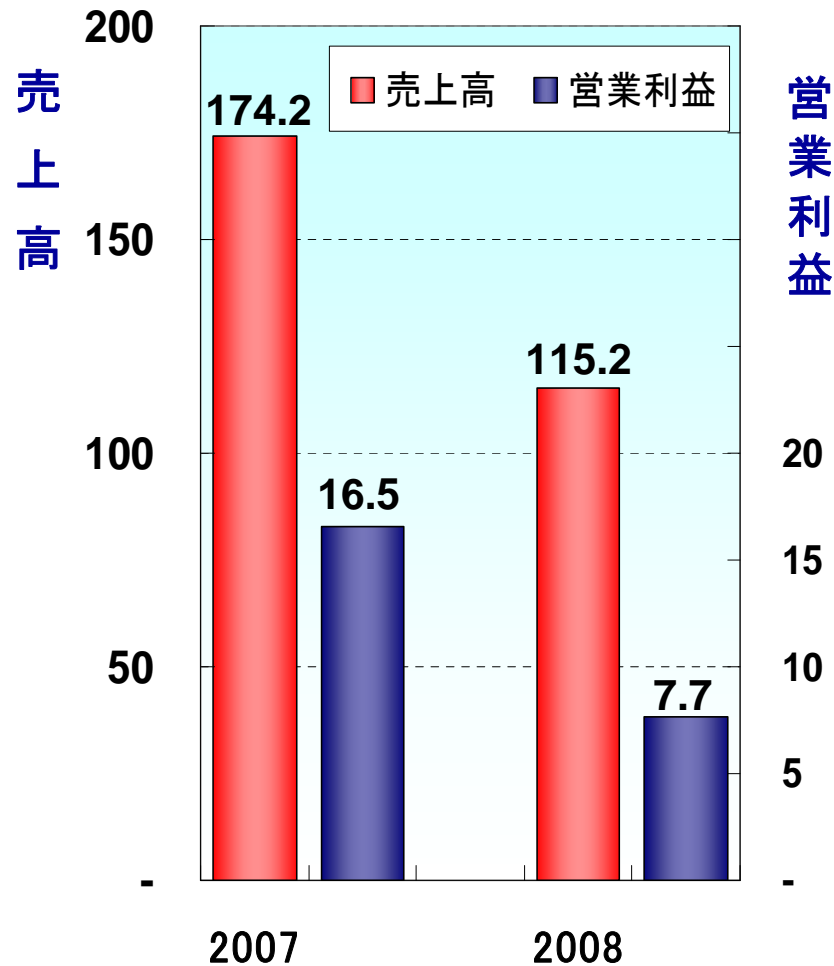
(金額単位: 億円)

	2008年3月期	2009年3月期		
			増減額	増減率
情報システム 営業利益率	16.5 9.5%	7.7 6.6%	△ 8.9 △ 2.9%	△ 53.8%
電子装置 営業利益率	0.9 0.9%	9.0 6.4%	8.1 5.6%	879.4%
製造装置 営業利益率	9.3 11.3%	9.7 9.7%	0.4 △ 1.6%	4.6%
その他・消去	△ 11.7	△ 12.4	△ 0.6	—
計 営業利益率	15.0 4.1%	14.0 3.9%	△ 1.0 △ 0.2%	△ 6.7%



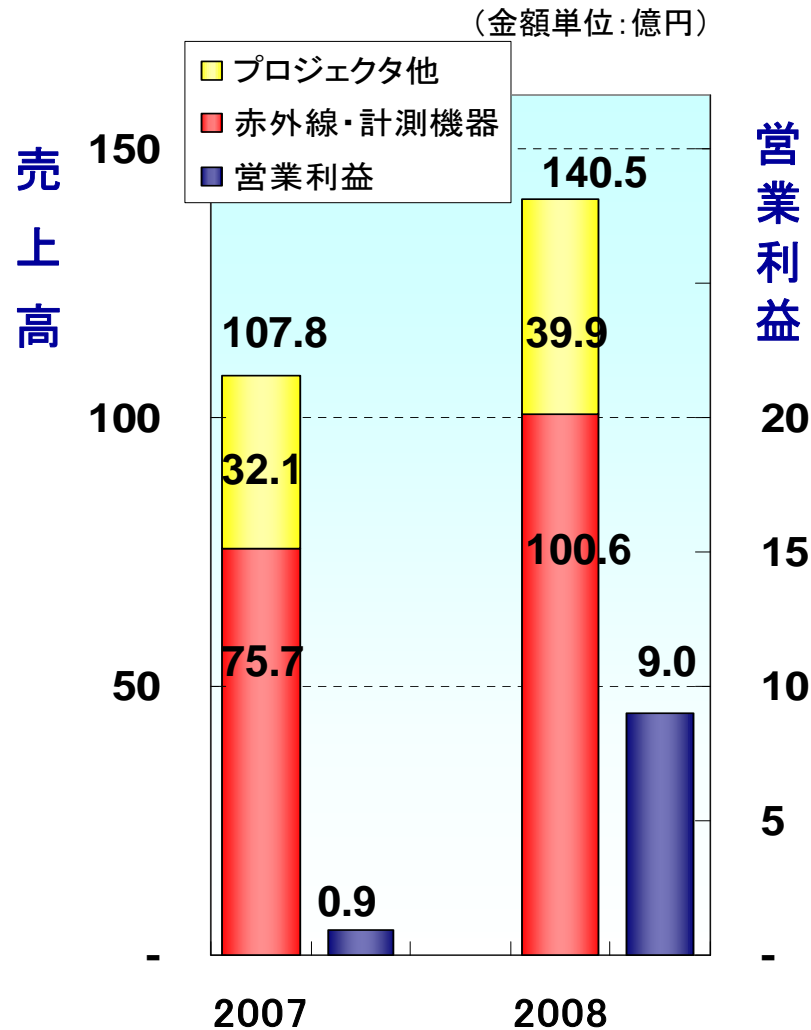
# 製品別業績見通し（情報システム）

（金額単位：億円）



- 基盤事業として着実な事業遂行
- 2008年度は大型プロジェクト（艦船建造計画等）の端境期のため、売上大幅減
- 非防衛ビジネスへ積極展開
  - ① 宇宙システム関連
  - ② 国土交通省航空局関連

# 製品別業績見通し（電子装置）



## (赤外線／計測事業)

- ・ 新会社発足によるリソース集中

### ① 売上の大幅増

海外市場の積極展開

### ② 開発力・製品企画力強化

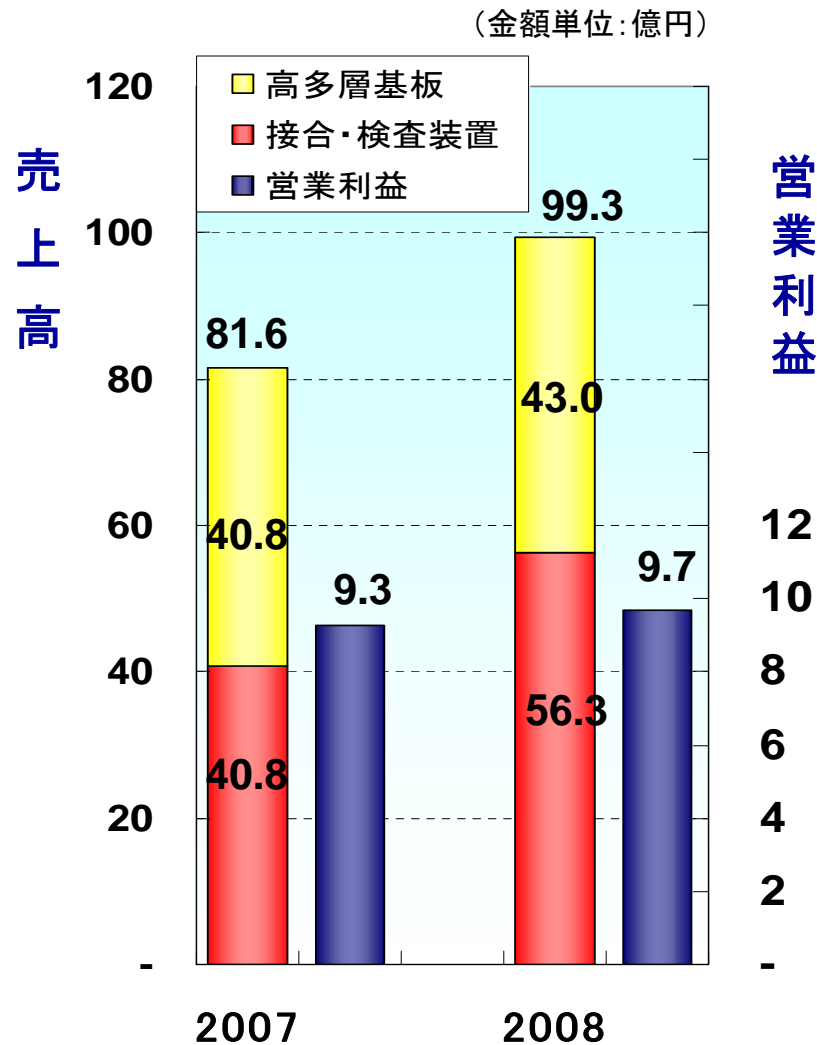
- ・ モジュールビジネス立ち上げ

## (プロジェクト他)

- ・ 差別化戦略徹底

- ・ 市場シェアの堅持・拡大

# 製品別業績見通し（製造装置）



## （接合・検査装置）

- コア技術により新市場・海外市場積極開拓
- COF・FPC市場でのシェアアップ

## （高多層基板）

- 高付加価値指向の徹底
- 高品質・高効率・省力化のための設備投資計画

# 2009年3月期業績見通しおよび 中期経営計画の達成に向けた取り組み

1. 中期経営計画の初年度として  
「市場創造型企業への転換」への基礎固め
2. 上期業績の改善
  - ・ 特に1Qにおける改善
  - ・ コンテンジエンシーの推進
3. 赤外線・計測事業の  
飛躍的成長
  - ・ 新会社の立ち上げ
4. 4つの改革の加速推進

## 中期計画 エグゼクティブ・サマリー



**飛躍のステージへ！  
市場創造型企業へ転換！**

■ 民需事業を積極展開 CAGR34%で売上高2.5倍△

特に、ニッチでも高いシェアと技術力を有する  
赤外線のマーケット創造と接合・検査装置の  
市場深耕に事業戦略の重点を置く

■ 防衛事業は堅持

永年にわたる信頼と実績で基盤事業として堅持  
技術の集積により底堅い売上を確保

**中計期間中 CAGR18%を目指す！**

3

※ 中期経営計画 2008年2月15日公表

## 本資料取扱上の注意

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向により、記載された業績見通しとは異なる場合がありますことをご承知おきください。

